

## 永代祠堂経を開闢された方にご案内

四月は境内の桜が満開です。桜の時期になるとる青春時代の苦い思い出が去来します。当時、仲間と桜を魚に酒宴に興じていた時、いつもお参りになる老婆が「あんたら、桜がなぜ綺麗か分かる？」と問いかけてきました。虚を突かれ、返す言葉もなく沈黙していると、彼女はこう言うのです。「桜は精一杯努力して美しくしいはなを咲かせて人を喜ばせ、その成果を一瞬のうちに散らせて平然としている。その姿が美しいのだ」と言い放った。桜にはそんな意思などないが、それを愛でる我々はいろいろな意味を気付かせてくれるのだと初めて知った。おそらく老婆は咲き誇り散っていく姿に自分の人生の理想的な生き方を感じ取っていたに違いない。

一生には多くの出会いがあります。しかし、別れのない出会いは一つもありません。親子も夫婦も兄弟も知友も必ず別れをもつて終わります。そこから奥深い命の営みを取る事が大切なことではないでしょうか。「さよなら」とは仏縁です。私が仏願を抛り所にした新しい自分に巡り逢うことです。このような命の依つて来たる由縁と行く末を自覚した自立的な生き方を菩提の道といえます。

**永代経法要**の営みは、この真実を一人でも多く方々にちに気付いてほしい、という先祖先達の永代の思いに出会うことです。

## 亀山御坊永代経法要日程

四月十二日（土）・十四日（日）

午前七時	晨朝勤行	本堂
午前十時	同行お勤め	蓮如堂
午後一時	永代経法要	本堂

導師 本徳寺 大谷昭仁師  
布教 専称寺 野田 茜師

お説経は、法要・お勤め・勤行の後、蓮如堂於

## 蓮如忌法要・宗祖降誕会のご案内

四月初旬、境内のサクラが満開になり、散つていきます。花命の短さを直視して永代経法要が勤まります。ツツジが咲く頃、五月十二日には蓮如忌法要が、そして境内に梅檀の香りが漂う頃、五月二十一日には降誕会が勤修されます。是非とも仏縁にお合いください。

## 個別納骨壇利用のご案内

亀山本坊で自己管理型の納骨壇の利用が出来ます。ご希望の方は左お問合わせ下さい。

問合先・本徳寺事務所・電話（235）0242